

米国向け 風力発電用ボルト参入

ハマツクス、現地で生産

【神戸】ハマツクス

(兵庫県姫路市、濱田隆平社長、079・335・4566)は、米国の風力発電設備用ボルト分野に本格参入する。オバマ政権が経済対策でクリーンエネルギー重視を打ち出し、中でも国内生産を優先する「バイアメリカン政策」をとる見通しであるため、米国の自社拠点で生産する体制を構

築していく。

ハマツクスが米市場で展開するのは、発電機用ボルトやタワー部分用ボルト、基礎部分用ボルトなど。テキサス州エルパソにある工場は、三菱重工のメキシコ合弁工場向けの供給拠点として2007年に開設した。米市場への参入には中国製品との競合が避けられな

いため、長寿命タイプの金型を利用してボルトの生産効率を向上させ、価格面でも対抗していく。5月に米国で開催され

た風力発電機器関連の見本市に出展し、さまざまなきき合いがあり、今後本格受注獲得に向けて販

売攻勢をかける方針だ。同社は船舶エンジン用の精密ボルトやナットの国内最大手。中でもディゼルエンジン用転造ボルトは国内シェア80%を握る。現状では船用向けも好調を維持しているが、今後の成長分野として風力発電市場開拓に力を入れる。

京西テクノス

動物用医療機器を修理

オムロンコーリンと提携

【立川】京西テクノス 社長、042・303・0888)は、オムロンと業務提携し、動物用医

コーリン(東京都文京区)